

大人のチカラ

33

～子どもたちの未来のために～

メディアとの付き合い方③

フィルタリングで メディア対策

携 帯電話やゲーム機を買い与える際に、保護者が絶対にしなければいけないことのつが「フィルタリング」。ピットクルー社インターネット利用者行動研究室室長の高橋大洋さんは「設定後も子どもたちの行動を見守り、指導することが大切」と話します。

「フィルタリング」とは、(ホワイト)リスト方式、ウェブサイト上の情報を許可/不許可の機能で、許可/不許可の機能で、サイトの閲覧を全て禁止する「全規制方式」、各携帯電

話会社が登録した安全なサイトのみ閲覧OKの「許可」があります。制限対象範囲は最初は厳

しく、子どもの成長に合わせて緩めていくことが大切。例えば、小学生なら全規制方式から始めて、子どものネットに対する利用知識やモラル・対話の能力発達を見極めながら、許可リスト方式へと変えましょう。

携帯電話への対応

携帯電話の場合、多くの業者は強弱複数のフィルタリングのコースを無償提供しています。子どもの年齢やスキルに合わせて設定を。ただしスマートフォンは、Wi-Fi(無線LAN)を経由すれば、フィルタリングを介せずネットに接続することが可能。フィルタリング機能を備えたアプリ

をダウンロードして、個別に設定することが必要です。

ゲーム専用機への対応

多くのゲーム専用機では、Wi-Fiを経由し、環境によっては簡単な設定だけで買った直後からインターネットができることを認識しましょう。有償のフィルタリングサービスや、標準機能でブラウザ機能やパスワードを設定し管理することもできますが、初期化をすればパスワードの意味もなくなるのです。

これからもネット機能付きの多様

な機器の発売が予定されています。フィルタリングはゴールではなく、むしろスタートであるということを忘れてはいけません。子どもの書き込みの内容までは制御できません。親が子どものネット利用を注意深く見守り、指導することが重要です。



※フィルタリング設定したゲーム機例